

ニチダイ (コード 6467 ジャスタック)

業績推移 (連結)

(予想は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率	利益	伸び率	純利益	配当		
08.3	12,577	+4.0	1,073	+2.6	46.7	16.0	34.3	8.5
09.3	10,394	-17.4	190	-82.2	22.7	8.0	35.2	1.8
10.3(予)	7,500	-27.8	610	-	44.2	0.0	-	-

精密鍛造金型のトップメーカー

特色...切削によらず、精密金型を使ってプレスで部品を完成品の形状に一発成形する「ネットシェイプ」をコア技術とする精密鍛造金型のトップメーカーで、自動車向けが主力。ネットシェイプ事業では、主にエンジン・トランスミッション・駆動系部品などの成形に使われる精密鍛造金型や、自動車部品・アルミ合金製エアコン部品などの精密鍛造品を生産。アッセンブリ事業では、ディーゼルエンジン用 VG ターボチャージャー部品の組立などを展開。フィルタ事業では、食品、医薬品、原子力、航空宇宙など、多様な産業分野で使われる積層焼結金網フィルタを製造。

09年3月期は減収減益に

減収減益に...09年3月期は、売上高が08年3月期比17.4%減となった。また、自動車産業の停滞によってネットシェイプ事業やアッセンブリ事業の売上高が第4四半期以降に大幅に減少し、第4四半期では営業損失を計上したことから、営業利益(3億1,500万円)は同73.9%減、経常利益も同82.2%減と、大幅な減益になった。事業別売上は、ネットシェイプ事業:62億3,200万円(08年3月期比17.4%減)、アッセンブリ事業:28億1,100万円(同26.2%減)、フィルタ事業:13億5,000万円(同10.7%増)。ネットシェイプ事業では、金型、精密鍛造品とも、下半期からの景気悪化の影響で国内外の主要ユーザーが生産調整を始めたことで第4四半期以降に急速な売上減となった。アッセンブリ事業においても、VGターボチャージャー部品の主力納入先となる欧州自動車市場が下半期以降に急速に縮小。一方、フィルタ事業は、第4四半期以降に原油価格下落による石油掘削用フィルターの生産減、国内における大幅な設備投資減少などの影響が出始めたものの、自動車関連に偏らず多様な産業に関わっていることから増収を確保した。

10年3月期は下半期から業績回復へ

今期は赤字、無配へ...10年3月期は、売上高が09年3月期比27.8%減の見込みで、同社では、上半期は売上高が停滞し、下半期から段階的に回復していくとみている。コスト削減策に努めるものの売上減の影響が大きく、経常赤字となる見通し。事業別売上予想は、ネットシェイプ事業:40億円(前期比35.8%減)、アッセンブリ事業:22億8,000万円(同18.9%減)、フィルタ事業:12億2,000万円(同9.7%減)。ネットシェイプ事業においては、北米地区の部品メーカーに関わる、部品生産の精密鍛造化が進展していないトラックなど大型車に向けた対応を強化。アッセンブリ事業では年後半から欧州向けターボチャージャー関連部品の需要回復が、また、フィルタ事業では第2四半期から石油掘削用フィルターの需要回復が見込まれている。配当は無配の予定。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。